

氏名	内川 洋子
学位の種類	博士(看護学)
報告番号	甲第 51 号
学位記番号	看博第 10 号
学位授与年月日	平成 27 年 3 月 19 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
論文題目	看護におけるチームワーク・コンピテンシー Teamwork Competency in Nursing
論文審査委員	主査 教授 山田 覚(高知県立大学) 副査 教授 時長 美希(高知県立大学) 教授 中山 洋子(高知県立大学) 准教授 瓜生 浩子(高知県立大学)

論文内容の要旨

[目的] 看護チームのチームワークを醸成し、チームワークに影響を及ぼす看護師のチームワーク・コンピテンシーを構成する要素および影響要因を明らかにし、看護師のチームワーク教育について示唆を得る。

[方法] 研究デザインは混合研究法である。文献検討によりチームワーク・コンピテンシーの要素を抽出し、面接調査による検証を行い、チームワーク・コンピテンシーの要素、影響要因を決定した。既存の尺度も参考にし、要素を操作化して質問紙を作成して量的調査を行った。高知県立大学看護研究倫理審査委員会の承認を得た。全国の 300 床以上の病院に勤務する看護師（看護師長、看護経験年数 1 年目の看護師を除く）2,422 名を対象に、質問紙調査を行い、対象者の背景 13 項目、看護師のチームワーク・コンピテンシー 72 項目、看護師長のリーダーシップ 6 項目、病棟の看護チームのチームワーク 7 項目について横断的調査を実施した。

[結果] 1,336 名から質問紙の回収が得られ、回収率 55.2% (有効回答率 97.5%) であった。看護師のチームワーク・コンピテンシーを構成する要素として【病棟運営・人的環境づくりへの積極的かわり】【スタッフや仕事状況のモニタリング・支援】【意図的な話しやすい雰囲気づくり】【自己・他者に対する責任】【仕事を通じた他者成長支援】【自己の影響の自覚とコントロール】【看護チームやメンバーへの信頼と尊重】【さりげない働きかけによる精神的なサポート】【他者への波及・拡張を意図した自分の思い、判断、行動の提示】【病棟やスタッフ理解】【他者の有効活用】を明らかにした。【自己・他者に対する責任】【看護チームやメンバーへの信頼と尊重】【スタッフや仕事状況のモニタリング・支援】は実践の程度が高い一方、【他者への波及・拡張を意図した自分の思い、判断、行動の提示】【自己の影響の自覚とコントロール】【病棟運営・人的環境づくりへの積極的かわり】は実践の程度が低く、ばらつきがみられた。看護師のチームワーク・コンピテンシーに看護経験年数、リーダー役割の経験有、副看護師長などの役職有、看護チームのチームワークが影響していた。

[考察] 看護師のチームワーク教育においては、看護師のチームワーク・コンピテンシーの要素にチームワークが影響していることから、チーム学習への有用性が示唆された。また、看護経験年数やリーダー役割、役職経験が影響を及ぼしていることから、経験学習プログラムを開発していく必要がある。

審査結果の要旨

本学位論文は、看護チームのチームワークを醸成し、チームワークに影響を及ぼす看護師のチームワーク・コンピテンシーを構成する要素および影響要因を明らかにし、看護師のチームワーク教育について示唆を得ることを目的に行われた。

看護チームにおいてチームメンバーが相互に助け合い、刺激し合い、支え合う関わりは、看護実践を支える重要な要素である。これらチームメンバーの相互作用を意味するチームワークとともに、チームワークを育み発展させるチームワーク・コンピテンシーが注目されているが、看護の特徴を捉えたチームワーク・コンピテンシーは示されていない現状がある。看護師のチームワーク・コンピテンシーを構成する要素および影響要因を明らかにすることで、看護師のチームワークに関する教育方法を開発し、看護師の成長を支援するとともに、看護のチームワークの向上に寄与することができる。また、看護のチームワークが向上することで、ひいては、看護の質が向上し、組織および看護の発展に寄与することが可能である。更に、看護における看護師のチームワーク・コンピテンシーを構成する要素を明らかにすることで、ヘルスケア領域における看護職者のチームワーク・コンピテンシーの教育に繋げることもでき、大変意義のある研究と言える。

研究デザインは混合研究法であり、文献検討によりチームワーク・コンピテンシーの要素を抽出し、更に面接調査による検証を行い、チームワーク・コンピテンシーの要素、影響要因を決定している。また、既存の尺度も参考にし、要素を操作化して質問紙を作成しており、測定尺度の作成のための検討を十分に行っている。そして、看護研究倫理審査委員会の承認を得ており、倫理的配慮も十分にされている。全国の300床以上の病院に勤務する看護師2,422名を対象に、前述の質問紙を用い調査が行われ、対象者の背景13項目、看護師のチームワーク・コンピテンシー72項目、看護師長のリーダーシップ6項目、病棟の看護チームのチームワーク7項目について横断的に調査しており、目的に対応できるデータ収集がされている。

1,336名から質問紙が回収され、回収率55.2%(有効回答率97.5%)であり、同様の看護研究と同じ妥当なデータ収集が行われたと考えられる。看護師のチームワーク・コンピテンシーを構成する要素として【病棟運営・人的環境づくりへの積極的にかかわり】、【スタッフや仕事状況のモニタリング・支援】などが明らかになっている。また、看護師のチームワーク・コンピテンシーに看護経験年数、リーダー役割の経験有、副看護師長などの役職有、看護チームのチームワークが影響していることを明らかにしている。

そして、看護師のチームワーク教育においては、看護師のチームワーク・コンピテンシーの要素にチームワークが影響していることから、チーム学習への有用性が示唆され、看護経験年数やリーダー役割、役職経験が影響を及ぼしていることから、経験学習プログラムを開発していく必要があるという示唆を得ており、本研究の目的を達成している。

以上のことから、本学位申請論文は、学位授与に値する成果と考えられ、審査委員は学位申請者内川洋子が、博士(看護学)の学位を授与される資格があるものと認める。